

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙 くりんぱーく便り

January vol. 18
たよ

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町劔地口1番地 TEL.&FAX.0768-45-1820

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちタケエイグループは、おかげさまで昨年春に創業50周年を迎えました。

当時ダンプ1台ではじめた廃棄物処理業は、今日では大型の施設を備え、より安心で安全な廃棄物処理ができるようになりました。同時に、分別精度の向上に取り組み、約90%までリサイクル可能となりました。また、他企業・自治体・団体等との協業・連携を図り、取り扱う廃棄物の種類や、処理方法・再利用方法まで多様化を進めております。

さらに、新しい取り組みとして、木質バイオマス発電施設を青森県平川市岩手県花巻市で稼働しました。地域で発生する未利用間伐材等を燃料として発電し、電気を地域に供給するとともに、平川では、熱を利用した高糖度トマトの栽培も始めています。タケエイグループでは、2020年までにさらに3カ所、あわせて5カ所、東北・関東地域において発電事業を開始する計画です。

さて、門前クリーンパークにおきましては、11月28日、石川県より産業廃棄物処理施設の設置許可証を交付いただきました。これまでの皆様方のご指導・ご協力に感謝するとともに、身の引き締まる思いでございます。

今後は、安心安全な施設として、しっかりと最終処分場の建設を進めてまいりますとともに、自然環境と地域社会にやさしい施設の運営に努めてまいります。

私たちは、資源循環型社会の形成及び低炭素社会に向けた対応など、『総合環境企業』として、これからの地域とともに歩んでまいります。

本年も皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



株式会社門前クリーンパーク
代表取締役社長

三本 守

「株式会社タケエイ 創業50周年記念 感謝の集い」を開催いたしました。

平成29年10月、タケエイではこれまでお世話になりましたの方々をお招きし、『株式会社タケエイ創業50周年記念感謝の集い』を開催いたしました。

開催にあたり、創業者及び現役員の紹介を行ない、皆様に半世紀にわたっての感謝の意を申し上げます。

中盤、ステージには輪島市より御陣乗太鼓のメンバーが登場し、その迫力に、総勢800名のお客様から大歓声があがりました。



▲株式会社タケエイの創業時メンバーと現役員が登場し、会場の皆様に挨拶を行ないました。



▲タケエイグループ代表でもある三本守が全社員を代表し、感謝の意を申し上げます。

会社概要・FAQ(よくある質問)をウェブサイトにて公開

これまで皆様からいただいた沢山のご質問やご意見等を取りまとめ、会社概要及びFAQ(よくある質問)を作成し、当社ホームページ上にて公開いたしました。



会社概要は、事業の目的及び事業計画の概要・環境保全・地域貢献に係る取り組み等について説明しています。不十分な点も多々あると思いますが、本事業へのご理解を深めていただくと幸いです。

これから工事前の環境影響調査や建設工事が始まります。安心・安全をテーマに、引き続き最新情報を提供してまいります。



門前クリーンパーク ウェブサイト

<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>

タケエイグループの木質バイオマス発電事業

タケエイグループでは、東日本において5カ所の木質バイオマス発電計画を進めています。

平成27年冬に営業運転を開始した青森県平川市での株式会社津軽バイオマスエナジー平川発電所に続き、昨年初めには、株式会社花巻バイオマスエナジー花巻発電所(岩手県花巻市)も開所しました。あわせて、今後2年以内の稼働を目指し、秋田県大仙市・神奈川県横須賀市・福島県田村市でも、地元の皆さまのご協力を得ながら設置工事を進めています。

東北地域での木質バイオマス発電事業は、地元から供給された木材(未利用材)を燃料として発電を行ない、電気は小中学校など地元を中心に供給するなど、『地産地消エネルギー』を目指しています。また、津軽バイオマスエナジーでは地元特産であるりんごの剪定枝も有効に活用しているほか、現在計画を進めている横須賀市では、街路樹や公園の剪定枝・伐採木を主燃料とする予定です。

る予定です。

さらに、津軽バイオマスエナジーでは、発電で生じた熱の有効利用も進めています。第1弾として、農業用ハウスを隣接地に建設し、高糖度トマトを育て、地元スーパーや都内のデパートなどに出荷しています。同発電所のある平川市は、『バイオマス産業都市※』として、豊富に存在するバイオマスの利活用を推進し、事業化による雇用創出と地域活性化による循環型社会の構築等を目指しています(『平川市地域新エネルギービジョン』)。私たちタケエイグループも、木材のもつエネルギーを最大限に活用できるよう、平川市とともに研究を進めています。

※バイオマス産業都市とは… 原料収集から製造・利用まで、経済性が確保された一貫システムを構築し、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまちづくりを目指す地域。平成25年度より、関係7府省(内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省)が共同で推進しており、平川市は平成28年度に選定された。(平川市ホームページより一部編集)

タケエイグループが進める「地産地消」バイオマス発電事業の地域や環境とのかかわり



▲花巻バイオマスエナジー花巻発電所は平成29年2月に営業運転を開始



▲津軽バイオマスエナジー平川発電所では発電で生じる熱エネルギーを利用して高糖度トマトを生産

田植え・稲刈りを行ないました

昨年も、白米千枚田のオーナーとして、心地よい汗と笑いとともに3枚の棚田に苗を植え、秋には喜びをかみしめながら黄金色に実った稲の収穫を行ないました。



地元の皆様のご協力のおかげで初心者でも楽しめる農作業は、潮騒と潮風に包まれて、今回も最高のイベントとなりました。

また、10月から3月まで行なわれる地元高校生発案のライトアップは、想像をはるかに上回る景観で、とても感動しました。

お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク

〒927-2342 石川県輪島市門前町劔地口1番地

TEL.&FAX. 0768-45-1820

<http://www.takeei.co.jp/mzcp/>

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。



この情報紙は、株式会社門前クリーンパークが印刷プロセスで使用する2.34kgのアルミ板をリユースする事で、
CO2排出量を23.81kg削減しました。

株式会社日本スマートエナジー 当CO2削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。

株式会社門前クリーンパークは、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国定公園内の植樹3,000本)に参加しています。

